

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の概要（和歌山県）

1 調査の概要

(1) 調査日 平成29年4月18日（火）

(2) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査内容

① 調査を実施した学校・児童生徒

全公立小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

全公立中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

	国語A	国語B	算数A・数学A	算数B・数学B
学校数・児童数(小6)	235校・7,364人	235校・7,360人	235校・7,364人	235校・7,359人
学校数・生徒数(中3)	121校・7,439人	121校・7,451人	121校・7,456人	121校・7,457人

② 教科に関する調査

- ・主として「知識」に関する問題…[国語A、算数A・数学A]

- ・主として「活用」に関する問題…[国語B、算数B・数学B]

③ 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査

(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

- ・学校に対する調査

(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)

2 教科に関する調査結果

(1) 全国（公立）の平均正答率の状況

単位：%

	小国A	小国B	小算A	小算B	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	中理
H19	81.7	62.0	82.1	63.6		81.6	72.0	71.9	60.6	
H20	65.4	50.5	72.2	51.6		73.6	60.9	63.1	49.2	
H21	69.9	50.5	78.7	54.8		77.0	74.5	62.7	56.9	
H22	83.2-83.5	77.7-78.0	74.0-74.4	49.1-49.5		75.0-75.2	65.1-65.5	64.4-64.8	43.1-43.5	
H24	81.4-81.7	55.4-55.8	73.1-73.5	58.7-59.1	60.8-61.1	75.0-75.2	63.2-63.4	62.0-62.3	49.2-49.5	50.9-51.1
H25	62.7	49.4	77.2	58.4		76.4	67.4	63.7	41.5	
H26	72.9	55.5	78.1	58.2		79.4	51.0	67.4	59.8	
H27	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
H28	73	58	78	47		76	67	62	44	
H29	75	58	79	46		77	72	65	48	

※ H22, H24は、抽出調査による平均正答率の95%の信頼区間。H23は、東日本大震災の影響により実施見送り。

※ H28からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

(2) 和歌山県（公立）の平均正答率の状況

単位：％

	小国A	小国B	小算A	小算B	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	中理
H19	81.1	59.0	82.6	62.9		80.3	67.0	72.8	58.2	
H20	64.3	47.4	72.7	48.9		71.9	57.0	64.3	48.8	
H21	69.8	48.4	79.4	53.0		74.9	70.7	63.1	56.0	
H22	81.8-83.2	75.0-77.0	72.6-74.6	46.9-48.9		71.8-73.0	61.1-62.7	64.0-65.7	41.0-43.2	
H24	79.2-80.7	50.9-52.9	72.0-73.8	55.8-57.7	57.2-58.9	73.9-75.2	61.0-62.5	62.0-63.8	47.4-49.7	48.9-50.8
H25	62.4	47.5	76.4	56.9		74.4	64.3	63.4	40.3	
H26	69.4	53.4	76.8	55.7		77.4	47.5	65.9	56.8	
H27	69.5	64.5	75.6	44.9	59.0	73.4	62.9	64.0	39.6	50.1
H28	70	56	77	46		74	63	62	43	
H29	75	57	79	46		77	70	65	48	

※ H22, H24は、抽出調査による平均正答率の95%の信頼区間。H23は東日本大震災の影響により実施見送り。
 ※ H28からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

(3) 和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差

単位：％

	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
県	75	57	79	46	77	70	65	48
全国	75	58	79	46	77	72	65	48
差	0	-1	0	0	0	-2	0	0

○小学校は、すべての教科で昨年度より全国平均との差が縮まり、国語Aと算数A、Bが全国平均と同等となった。中学校でも、昨年度より全国平均との差が縮まり、国語Aと数学A、Bは全国平均と同等となった。

(4) 和歌山県（公立）の無解答率〔平均〕と全国（公立）の無解答率〔平均〕との比較

(小学校)

単位：％

	国語A		国語B		算数A		算数B	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
H27	3.0	3.6	5.9	6.1	1.5	1.8	9.4	9.1
H28	5.1	5.3	4.2	4.6	1.5	1.8	7.1	7.4
H29	1.8	2.8	3.3	4.3	1.0	1.6	5.3	6.4

(中学校)

単位：％

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
H27	2.8	2.6	3.0	2.2	3.8	3.7	16.4	15.3
H28	2.0	2.0	4.9	4.4	5.9	6.3	15.0	14.7
H29	1.9	2.4	3.5	3.8	4.6	6.3	9.7	11.7

○小学校、中学校ともにすべての教科で全国平均より低くなった。

(5) 記述式問題における和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差

単位：％

	小国B	小算B	中国B	中数B
県	42.7	33.1	53.5	22.5
全国	41.7	31.6	55.9	21.7
差	1.0	1.5	-2.4	0.8

○従来、課題のあった記述式問題については、小学校は、国語Bと算数Bが全国平均を上回り、中学校は、国語Bが全国平均を下回ったが、数学Bが全国平均を上回った。

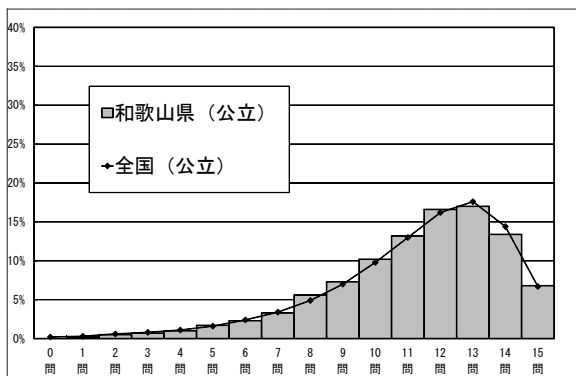
3 教科の概要

【小学校国語】

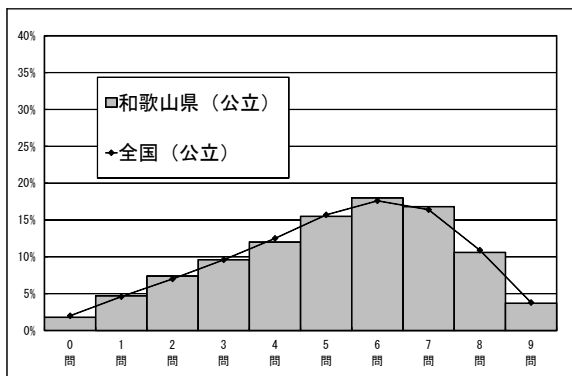
◇…相当数の児童・生徒ができている点 ◆…課題のある点
[]内は、問題番号と正答率

- 国語A（知識）の平均正答率は75%であった。
 ◇俳句の情景を捉えることについては、概ねできている。
 [A④一 82.3%]
 ◇ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることについては、概ねできている。
 [A⑤ア 88.9%, A⑤イ 83.2%]
 ◆手紙の構成を理解し、後付けを書くことについては、課題がある。
 [A②二 41.7%]
 ○国語B（活用）の平均正答率は57%であった。
 ◇登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることについては、概ねできている。
 [B③一 76.4%]
 ◆目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題がある。[B②三 32.6%]
 ◆自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることについては、課題がある。
 [B③二 25.7%]

[国語A]	児童数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,364	75
全国(公立)	999,683	75



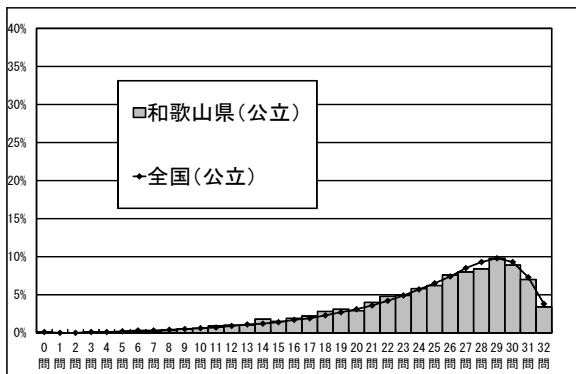
[国語B]	児童数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,360	57
全国(公立)	999,498	58



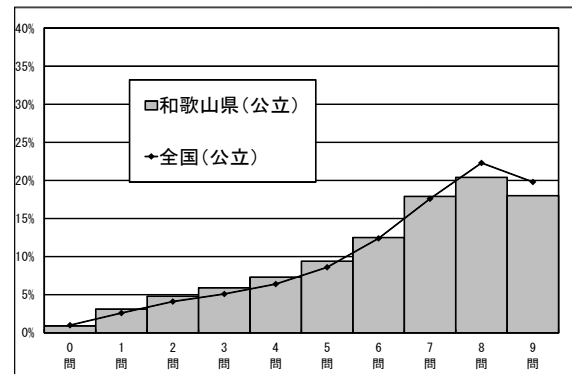
【中学校国語】

- 国語A（知識）の平均正答率は77%であった。
 ◇目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめることについては、相当数の生徒ができています。
 [A⑤二 91.4%]
 ◇文章の表現の仕方について自分の考えをもつことについては、概ねできている。
 [A⑧一 82.3%]
 ◆事象や行為などを表す多様な語句について理解することに課題がある。[A⑨五 33.0%]
 ○国語B（活用）の平均正答率は70%であった。
 ◇場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解することについては、概ねできている。
 [B①二 85.1%]
 ◇目的に応じて資料を効果的に活用して話すことについては、概ねできている。
 [B②一 83.7%]
 ◆表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことに課題がある。[B①三 38.3%]

[国語A]	生徒数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,439	77
全国(公立)	982,511	77



[国語B]	生徒数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,451	70
全国(公立)	982,619	72



【小学校算数】

○算数A（知識）の平均正答率は79%であった。

◇具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解することについては、相当数の児童ができています。

[A①(1) 97.4%]

◇小数の乗法の計算において、乗法を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解することについては、相当数の児童ができています。[A①(3) 92.2%]

◆資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることに課題がある。

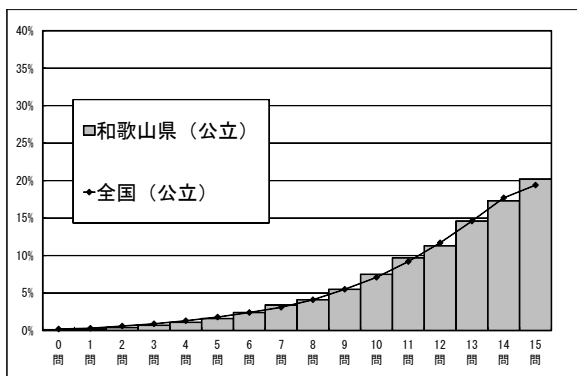
[A②(2) 58.1%]

○算数B（活用）の平均正答率は46%であった。

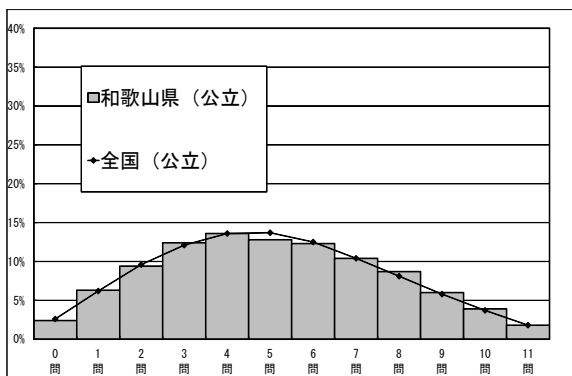
◆直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することに課題がある。[B②(2) 26.5%]

◆身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述することに課題がある。[B⑤(2) 13.1%]

[算数A]	児童数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,364	79
全国(公立)	999,723	79



[算数B]	児童数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,359	46
全国(公立)	999,451	46



【中学校数学】

○数学A（知識）の平均正答率は65%であった。

◇実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解することについては、相当数の生徒ができています。[A①(4) 91.7%]

◆関数の意味を理解することに課題がある。[A⑨ 19.9%]

◆範囲の意味を理解することに課題がある。[A⑭(1) 23.6%]

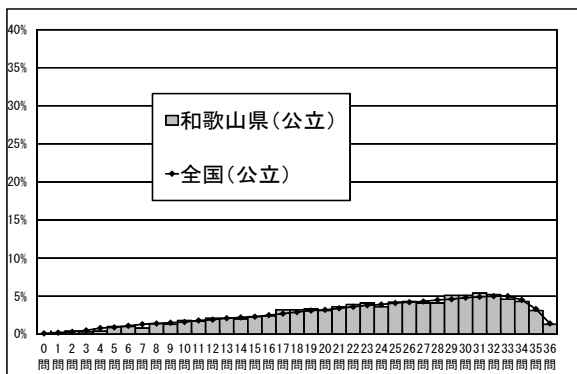
○数学B（活用）の平均正答率は48%であった。

◆事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。

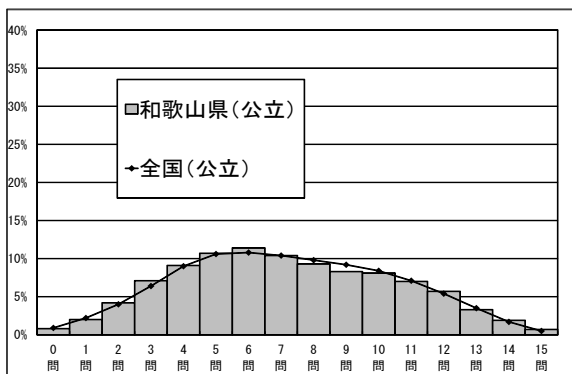
[B②(3) 15.2%]

◆資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。[B⑤(3) 17.4%]

[数学A]	生徒数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,456	65
全国(公立)	982,811	65



[数学B]	生徒数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,457	48
全国(公立)	982,786	48



4 質問紙調査の結果

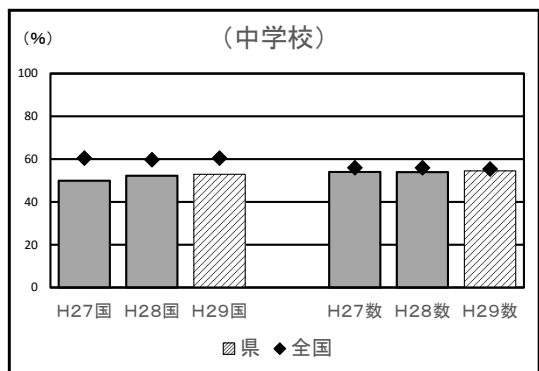
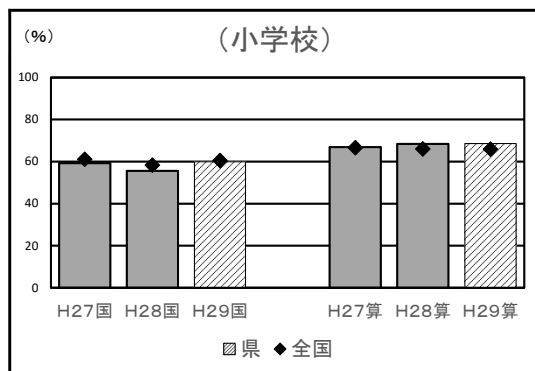
- (1) 【学習に対する関心・意欲・態度】「勉強は好きですか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校の算数では全国を上回っているが、小学校の国語、中学校の数学では全国と同程度であり、中学校の国語では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27国語	59.2	61.1	-1.9
H28国語	55.6	58.3	-2.7
H29国語	59.9	60.5	-0.6
H27算数	66.9	66.6	0.3
H28算数	68.4	66.0	2.4
H29算数	68.6	65.9	2.7

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27国語	49.9	60.5	-10.6
H28国語	52.3	59.8	-7.5
H29国語	52.9	60.5	-7.6
H27数学	54.0	56.0	-2.0
H28数学	53.9	56.0	-2.1
H29数学	54.5	55.4	-0.9



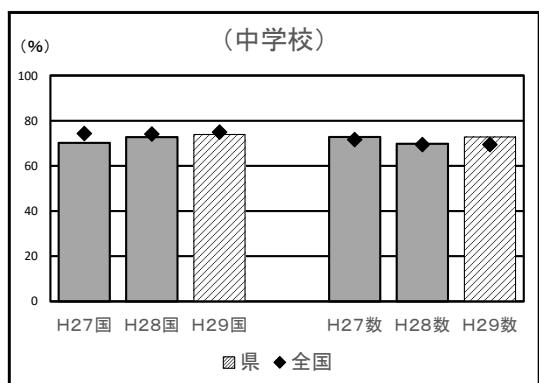
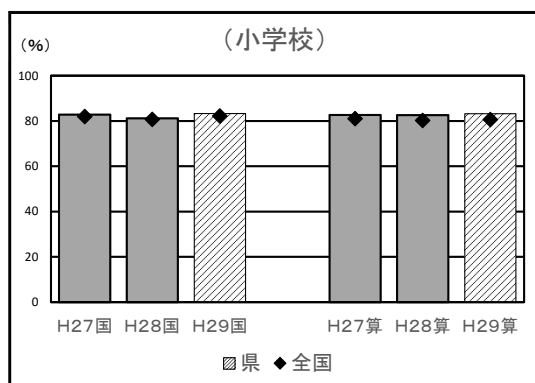
- (2) 【学習に対する関心・意欲・態度】「授業の内容はよく分かりますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校の国語、算数、中学校の数学では全国を上回り、中学校の国語では全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27国語	82.8	82.0	0.8
H28国語	81.2	80.7	0.5
H29国語	83.3	82.2	1.1
H27算数	82.7	81.0	1.7
H28算数	82.6	80.2	2.4
H29算数	83.2	80.6	2.6

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27国語	70.2	74.3	-4.1
H28国語	72.7	74.1	-1.4
H29国語	73.9	74.9	-1.0
H27数学	72.8	71.6	1.2
H28数学	69.8	69.4	0.4
H29数学	72.8	69.4	3.4



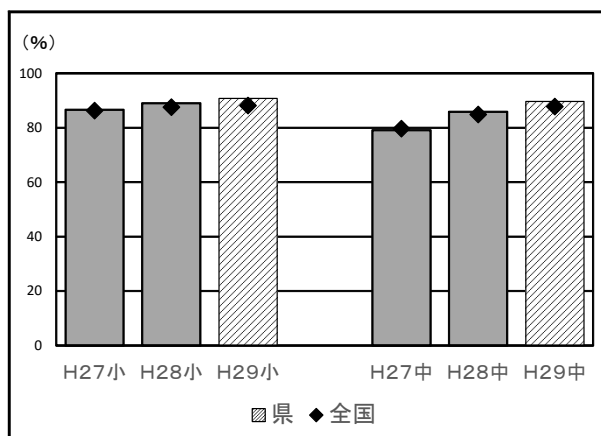
- (3) 【学校の指導・取組】「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	86.6	86.3	0.3
H28	89.0	87.6	1.4
H29	90.8	88.2	2.6

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	79.1	79.7	-0.6
H28	85.9	84.9	1.0
H29	89.7	87.8	1.9



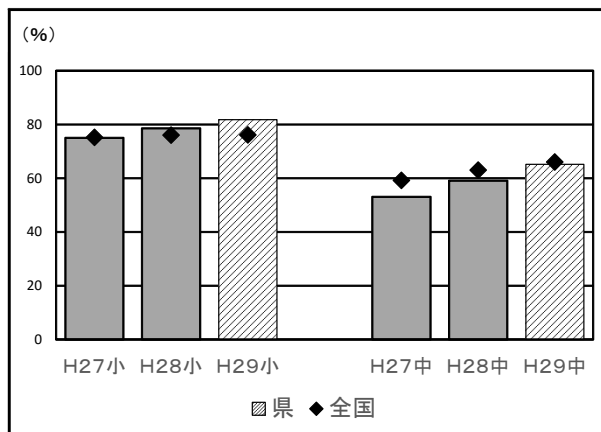
- (4) 【学校の指導・取組】「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を上回り、中学校では全国と同程度である。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	75.1	75.3	-0.2
H28	78.6	76.1	2.5
H29	81.8	76.2	5.6

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	53.1	59.3	-6.2
H28	59.1	63.1	-4.0
H29	65.2	66.1	-0.9



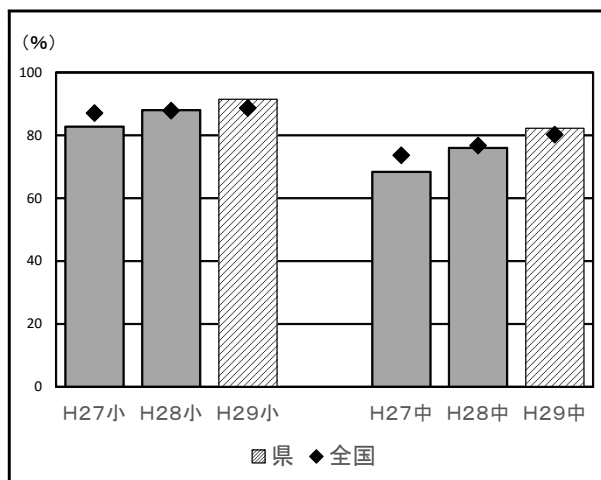
- (5) 【学校の指導・取組】「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	82.8	87.1	-4.3
H28	88.0	87.9	0.1
H29	91.5	88.7	2.8

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	68.4	73.7	-5.3
H28	76.0	76.8	-0.8
H29	82.3	80.3	2.0



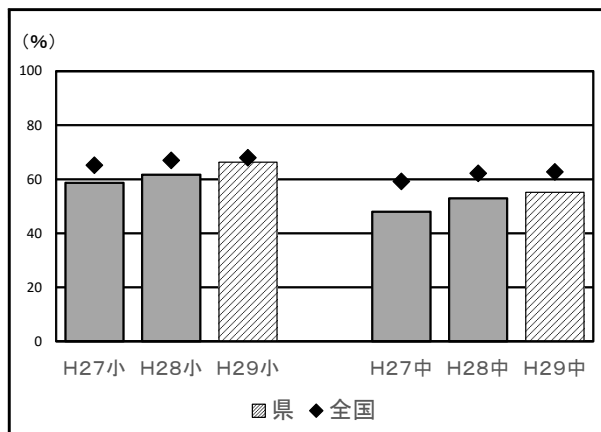
- (6) 【学校の指導・取組】「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	58.7	65.2	-6.5
H28	61.7	67.0	-5.3
H29	66.3	68.0	-1.7

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	48.0	59.2	-11.2
H28	52.9	62.2	-9.3
H29	55.2	62.7	-7.5



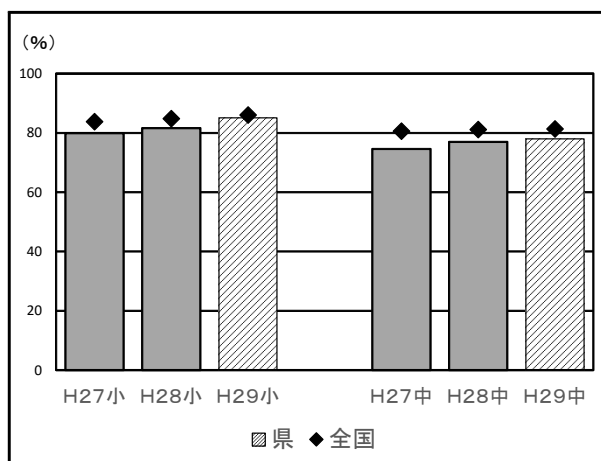
- (7) 【学校の指導・取組】「算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国と同程度であり、中学校では全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	79.9	83.8	-3.9
H28	81.6	84.8	-3.2
H29	85.1	86.0	-0.9

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	74.6	80.6	-6.0
H28	77.0	81.1	-4.1
H29	78.0	81.3	-3.3



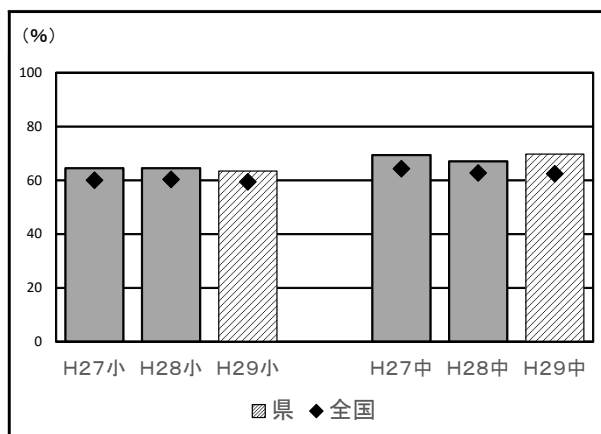
- (8) 【学校の指導・取組】「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」について、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国より高く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	64.5	60.1	4.4
H28	64.5	60.4	4.1
H29	63.5	59.5	4.0

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	69.4	64.4	5.0
H28	67.1	62.8	4.3
H29	69.8	62.5	7.3



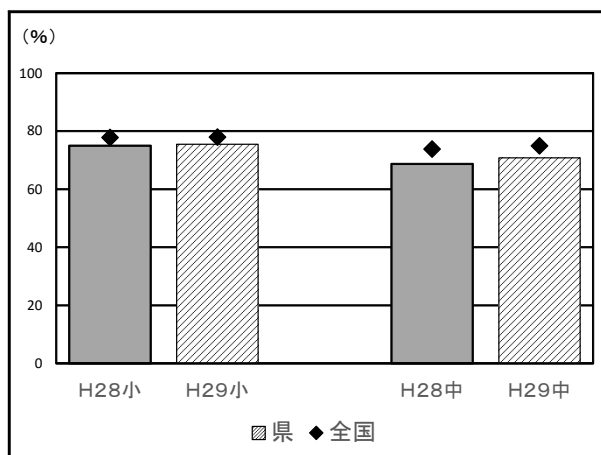
- (9) 【学校の指導・取組】「先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	75.0	77.8	-2.8
H29	75.5	77.9	-2.4

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	68.7	73.8	-5.1
H29	70.8	74.9	-4.1



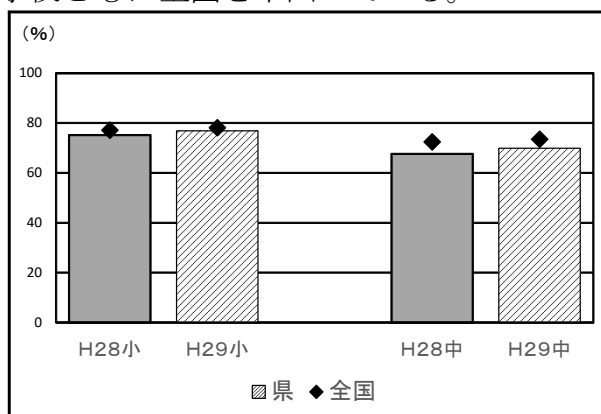
- (10) 【学校の指導・取組】「学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	75.2	77.1	-1.9
H29	76.9	78.1	-1.2

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	67.6	72.4	-4.8
H29	69.9	73.5	-3.6



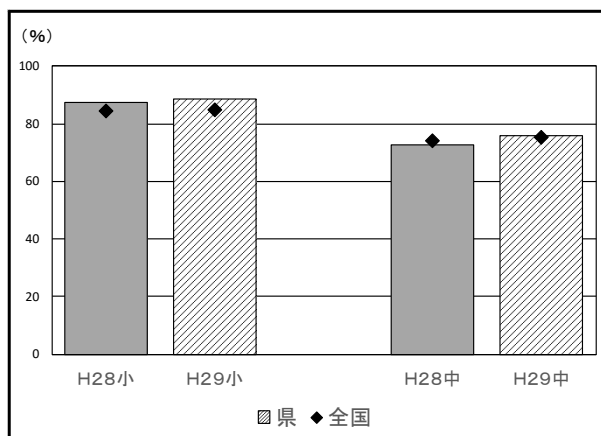
- (11) 【学校の指導・取組】「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	87.4	84.8	2.6
H29	88.7	85.1	3.6

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	72.7	74.1	-1.4
H29	75.7	75.5	0.2



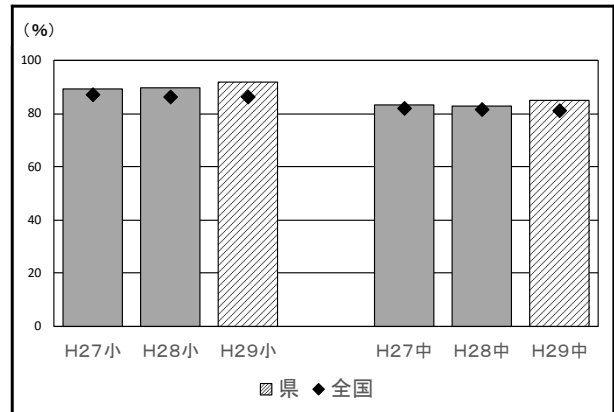
(12) 【学校での生活】「学校に行くのは楽しいと思いますか」について、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	89.3	87.0	2.3
H28	89.8	86.3	3.5
H29	91.7	86.3	5.4

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	83.3	82.1	1.2
H28	82.6	81.4	1.2
H29	84.9	80.9	4.0



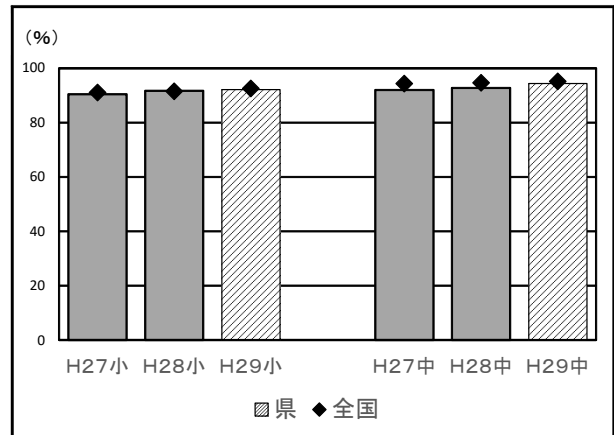
(13) 【規範意識】「学校のきまりを守っていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国と同程度である。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	90.4	91.1	-0.7
H28	91.7	91.5	0.2
H29	92.1	92.6	-0.5

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	92.0	94.4	-2.4
H28	92.7	94.7	-2.0
H29	94.4	95.2	-0.8



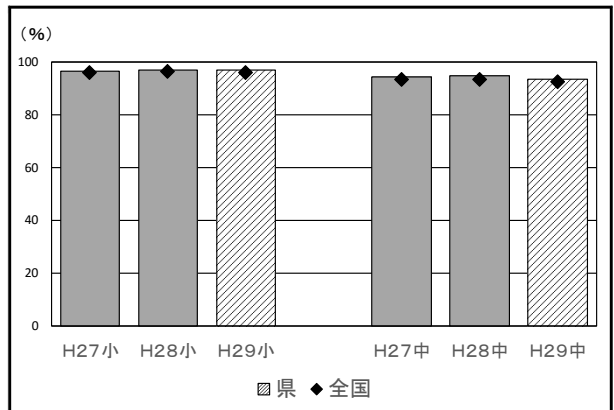
(14) 【規範意識】「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	96.6	96.2	0.4
H28	97.2	96.6	0.6
H29	96.8	96.1	0.7

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	94.3	93.7	0.6
H28	94.7	93.6	1.1
H29	93.7	92.8	0.9



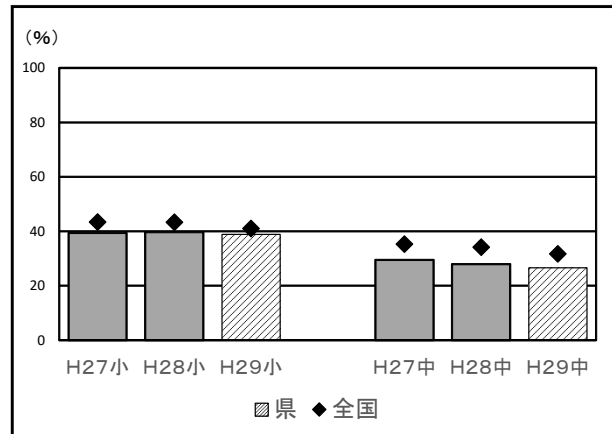
- (15) 【家庭学習】「家で、学校の授業の予習をしていますか」について、「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	39.4	43.4	-4.0
H28	39.7	43.3	-3.6
H29	38.9	41.0	-2.1

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	29.5	35.3	-5.8
H28	27.9	34.2	-6.3
H29	26.6	31.7	-5.1



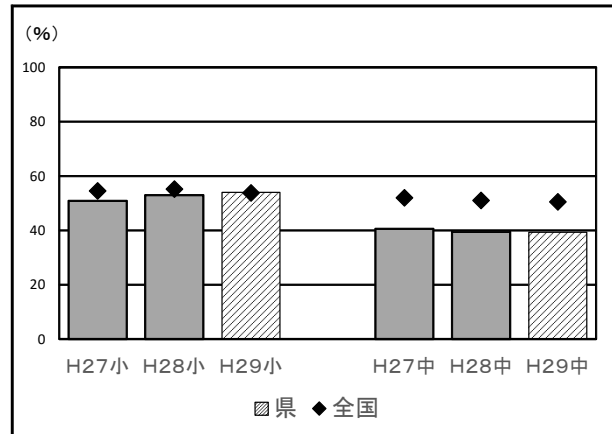
- (16) 【家庭学習】「家で、学校の授業の復習をしていますか」について、「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学校では全国を上回り、中学校では全国より低く、差が大きい。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	50.9	54.5	-3.6
H28	53.0	55.2	-2.2
H29	54.0	53.8	0.2

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	40.6	52.0	-11.4
H28	39.5	51.0	-11.5
H29	39.3	50.5	-11.2



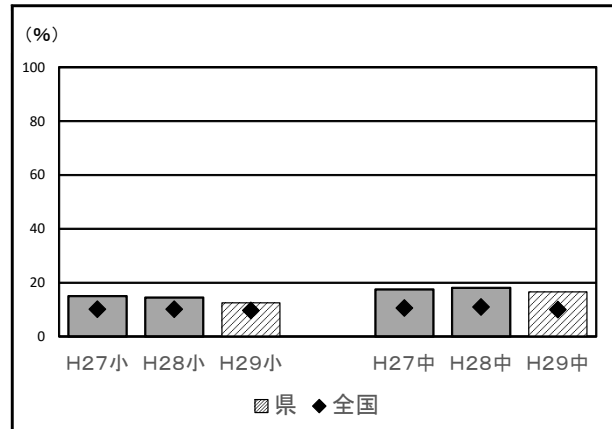
- (17) 【家庭学習】「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」について、「全くしない」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国より高く、中学校では差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	15.0	10.2	4.8
H28	14.5	10.2	4.3
H29	12.5	9.7	2.8

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	17.5	10.6	6.9
H28	18.1	11.0	7.1
H29	16.6	10.0	6.6



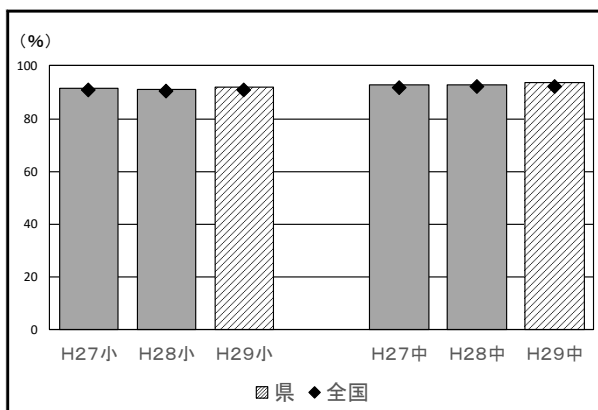
- (18) 【基本的な生活習慣】「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」について、「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	91.4	91.0	0.4
H28	91.2	90.8	0.4
H29	92.1	91.2	0.9

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	93.0	92.1	0.9
H28	92.9	92.3	0.6
H29	93.6	92.4	1.2



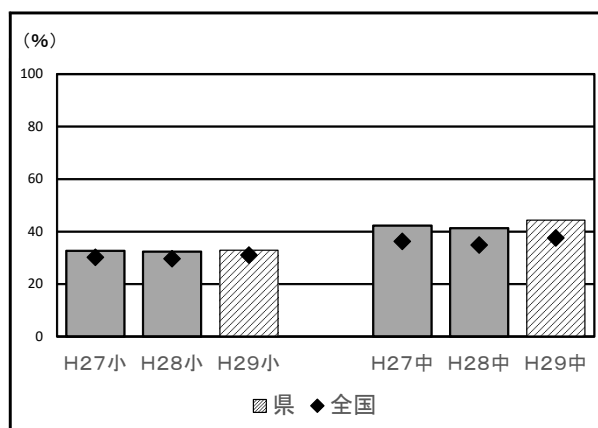
- (19) 【メディアとの関係】「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしますか」について、「2時間以上」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国より高く、中学校では差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	32.7	30.2	2.5
H28	32.4	29.7	2.7
H29	32.9	31.1	1.8

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	42.3	36.3	6.0
H28	41.3	34.9	6.4
H29	44.4	37.6	6.8



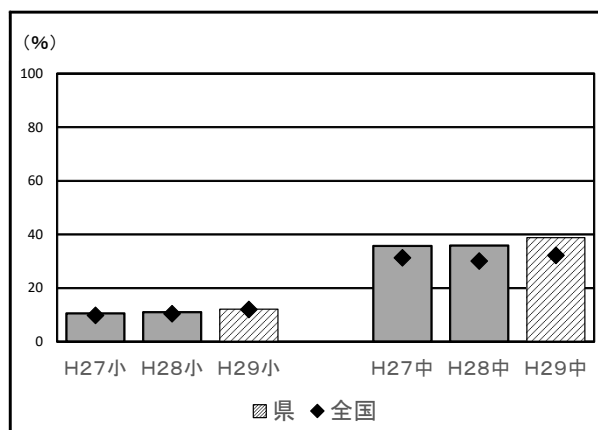
- (20) 【メディアとの関係】「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます。）」について、「2時間以上」と回答した割合は、小学校では全国と同程度であり、中学校では全国より高く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H27	10.6	9.8	0.8
H28	11.0	10.4	0.6
H29	12.2	12.0	0.2

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H27	35.7	31.3	4.4
H28	35.9	30.1	5.8
H29	38.8	32.2	6.6



5 現中学校3年生（平成29年度）の小学校調査時（平成26年度）との結果の比較

(1) 教科に関する調査結果

- 課題の大きかった国語Aについては、「書く能力」と「言語についての知識・理解・技能」の平均正答率で改善が見られ、特に、「言語についての知識・理解・技能」は全国平均と同等となった。

単位：%

書く能力	県	全国	差
H26(小6)	68.0	72.2	-4.2
H29(中3)	84.5	85.7	-1.2

単位：%

知識・理解・技能	県	全国	差
H26(小6)	70.2	73.7	-3.5
H29(中3)	77.2	77.2	0.0

- 国語Bについては、「書く能力」に依然として課題がある。

単位：%

書く能力	県	全国	差
H26(小6)	31.9	34.4	-2.5
H29(中3)	58.0	60.8	-2.8

(2) 質問紙調査の結果

- 「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は高くなり、改善が見られた。特に、「目標が示されていたと思う」項目については、全国を上回った。

単位：%

目標を示す	県	全国	差
H26(小6)	78.3	82.0	-3.7
H29(中3)	89.7	87.8	1.9

単位：%

振り返る活動	県	全国	差
H26(小6)	66.9	71.9	-5.0
H29(中3)	65.2	66.1	-0.9

- 「授業の内容はよく分かりますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、数学では改善が見られたが、国語では依然として課題がある。

単位：%

国語	県	全国	差
H26(小6)	80.3	80.1	0.2
H29(中3)	73.9	74.9	-1.0

単位：%

数学(算数)	県	全国	差
H26(小6)	80.2	79.6	0.6
H29(中3)	72.8	69.4	3.4